

ごあいさつ

衆議院大阪9区支部長の東田じゅんぺいです。平素より自由民主党大阪府第九選挙区支部へのご支援、ご協力を賜りまして、心より感謝申し上げます。

さて、先般、自民党総裁選挙が実施され、その結果、高市早苗氏が新総裁に就任されました。また、その後の臨時国会に於いて高市新総裁が第104代首相に選出されたことを本当に嬉しく思っております。

然しながら、総理総裁が変わったからと言って自民党の支持が回復する状況ではありません。衆議院議員選挙、参議院議員選挙と自民党は大きく議席を減らす厳しい結果となりましたが、「解党的出直し」が誓われる中、いま自民党は本当に変わらないといけないタイミングにきています。一致団結して、この難局に立ち向かい、必ず自民党を変える！そして国民の皆さまが求めている物価高対策も迅速に進めて参りますので、引き続き温かいご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



昨年の衆院選の際に応援演説にお越し頂きました際の写真



議員会館にご挨拶にお伺いした際の写真

関西出身、そして同じ神戸大学経営学部出身の 総理総裁誕生を嬉しく思っています!!

【衆議院】自由民主党
大阪府第九選挙区支部長

東田 ひがしだ
じゅんぺい

42
歳

プロフィール

昭和58年生まれ 幼少期を米国ニューヨークで過ごす。
大教大附属池田中学校、大教大附属高校池田校舎、
神戸大学経営学部
三菱商事、ドイツとシンガポールに駐在。

2人の姉妹の父



ボランティアスタッフ募集

東田じゅんぺいの活動を応援して下さる、ボランティアを募集しています。業務内容は、ビラ配り、ビラ折り、ポスター貼りなどです。30分だけのボランティアから、インターンまで大歓迎です。

[詳しくはこちらをご覧ください。→](#)



自民党員募集

現在、自由民主党では、新規党員となってお下さる方を募集しています。東田じゅんぺいとともに、明日の新しい日本を創っていく仲間となっただけだと思いますので、ぜひお力をお貸しください。



東田じゅんぺい後援会員募集

東田じゅんぺいを応援したいと思って下さる皆様のご入会を心からお待ちしております。日々の活動報告や後援会向けの活動告知などをお届けいたします。



公式LINEやってます!

毎週一回程度、東田じゅんぺいの活動報告や最近のニュースについて思うこと、各種集会や演説会の案内をさせていただきます。是非ご登録ください



LINE登録の手順

簡単! 3step!

← こちらのQRコードを読み取りできます



インスタ、YouTubeも!

毎週一回、原則水曜日21時から
ライブ配信行ってます!

Instagram



YouTube



ホームページ、Facebook、
X、TikTokはこちら→



自民党は必要なのか？

- ✓ 長年に亘って政権を運営していたことから、経済、外交・安全保障などの分野で一定の経験と国際的な信頼がある。
- ✓ 政権運営に精通した政治家が多数存在し、人材層も厚く、官僚との連携体制も構築している。
- ✓ 野党は政権運営の経験に乏しく、急激な政権交代は不安定化を招く。また、野党勢力が分かれていることから、自民党が無くなった場合、政治空白が長期化するリスクがある。

ポイントは
この2点

- ① 自民党は変わることができるのか？
- ② 野党が政権運営能力を養うことができるのか？

自民党は何が変わらないといけないのか？
「東田じゅんぺいの考える」

自民党の問題点

1 党の体質

- 長年政権を担ってきたことから、既得権益化や癒着・腐敗体質が指摘されている。また、政権交代も少なく、慢心と驕りが生じ、モラルも低下。体質を改善しようとする動きも乏しく、自浄能力が作用していない。結果として、不祥事が無くならず、国民の政治不信が深刻化している。
- 派閥は形式上解消されたものの、旧派閥的人脈が党内に大きな力を持ち、政策よりも人事や立場が優先される体質が残っている。総裁選でも旧派閥の影響力が大きく、党内の民主主義が十分に機能していない。

「東田じゅんぺいの考える」解決策

- ✓ 政治資金規正法の強化、政治資金の透明化（デジタル導入、第三者による監査）、不祥事の再発防止策や厳格なルールづくり、企業・団体献金の見直し
- ✓ 派閥の全面解消、実力主義・政策成果本位での人材登用、首相公選制の導入

2 政策決定プロセス

- 内閣に権限が集中し、政策決定プロセスにおける国会や党内の議論が十分に行われていない。数の力で強行採決を繰り返しており、国民の納得感が得られていない。
- 「物価高対策」といった重要政策においても、国民への十分な説明を欠いたまま、政策を推し進める姿勢が不信感を招いている。
- 支持基盤への配慮、高齢者偏重の有権者構造等から、行政改革、規制緩和、社会保障、少子高齢化や財政赤字といった重要課題が、検討中という名の下で放置され、所謂「痛みを伴う改革」が先送りされてきた。微修正を繰り返す政治では、限界を迎えている。

「東田じゅんぺいの考える」解決策

- ✓ 意思決定の透明性向上、野党提案の活用、合意形成型の国会運営
- ✓ 民意を踏まえた政策立案、国民に対する丁寧な説明、発信力の強化
- ✓ 企業・団体献金からの脱却（政治資金の多様化）、現役・若者世代の政治参加拡大、支持基盤の多様化、不人気でも必要な改革に向き合う仕組み（財政の自動調整ルール）の導入

3 世代交代と人材育成

- 議員の約3割を占める世襲の構造は閉鎖的な政治文化が引き継がれ易く、多様な人材の活躍を妨げている。また、大御所の議員が政局を左右する部分もあり、若手が十分に活躍できない風土がある。
- 女性議員比率は先進国最低水準にとどまり、民間企業と比べても女性の活躍が遅れている。

「東田じゅんぺいの考える」解決策

- ✓ 世襲の見直し、候補者公募のルール厳格化
- ✓ 人材の多様化、若手・女性登用の仕組みづくり（定年制の導入）



好循環への転換シナリオ



❗ 新しい人材が参加し、育たないと、党の体質は改善されない

❗ 党の体質が変わらないと、政策も変わらない

「閉鎖的・保守的な体質を改め、開かれた・戦略的で多様性を持つ政党へ変わるか」

上記挙げた改革案にはメリット・デメリットもありますが、最初から「難しい」と投げ出すのではなく、本気で検討すべきです。高いハードルでも誰かが一歩を踏み出さなければ何も始まりません。東田じゅんぺいは17年間の民間企業での経験を活かして政治の世界に新しい風を吹き込んで参ります!!

